

# 2019年（第30回）福岡アジア文化賞

FUKUOKA PRIZE 2019



## 公式行事などの詳細が決まりました！

アジア文化への貢献をたたえる福岡アジア文化賞。  
 記念すべき**30回目**を迎える今年もさまざまなイベントを予定しています。  
 市民のみなさまへの広報と取材をお願いいたします！

### I 主なスケジュール

※ 日時詳細は別紙1をご参照ください ※

#### ●● 公式行事 ●●

- 9月10日(火) 第30回授賞式
- 12日(木) 学校訪問(学術研究賞), 市民フォーラム(芸術・文化賞)
- 13日(金) 学校訪問(大賞/芸術・文化賞), 市民フォーラム(学術研究賞/大賞)



#### ●● その他の主催イベント ●●

- 8月22日(木)～9月24日(火) 第30回記念パネル展(福岡アジア美術館 アートカフェ)
- 9月10日(火) 第30回記念パネル展(福岡国際会議場)



#### ●● 共催・協力事業 ●●

- 開催中～9月24日(火) アジアのアーティスト ハイライト展(福岡アジア美術館)
- 9月10日(火)・11日(水) ランドルフ・ダビッド氏大賞受賞記念上映(福岡市総合図書館)



## II 来福する受賞者たち

### ●● 第30回受賞者 ●●

#### 【大賞】ランドルフ・ダビッド氏（フィリピン／社会学者）

ーフィリピン大学名誉教授で、新興独立国の問題等を研究。『バナナと日本人』で知られる故・鶴見良行氏とも親交あり。

#### 【学術研究賞】レオナルド・ブリュッセイ氏（オランダ／歴史学者（東南アジア史専門家））

ーグローバルな視野から近世東アジアの海域史を開拓。オランダ初の受賞者！

#### 【芸術・文化賞】佐藤 信氏（日本／劇作家、演出家）

ー現代的感覚と伝統的美意識を融合させた舞台を数多く制作。岸田國土戯曲賞など受賞。



### ●● 市民フォーラム ゲスト ●●

市民向けのフォーラム出演のため、豪華ゲストたちが駆け付けてくださいます！



## III 取材の申込み

第30回授賞式以外のイベントの取材については、別紙2「取材申込票」により8月30日(金)までに下記担当宛にお申し込みください。

★ 第30回授賞式の取材申込については、別途お知らせします。

## IV 問い合わせ先

総務企画局 国際部 アジア連携課（福岡アジア文化賞委員会事務局）

担当：中野，山田 Tel：092-711-4930 Fax：092-735-4130

福岡アジア文化賞 URL <http://fukuoka-prize.org/>



※ 共催・協力事業は福岡アジア美術館…担当：ラワンチャイコン，趙（ちよう）（Tel：092-263-1106），福岡市総合図書館…担当：八尋，池田（Tel：092-852-0608）にお問い合わせください。

ASIAN PARTY とは…9月から10月にかけて集中的に開催されるアジアとクリエイティブ関連事業の総称です。「アジアと創る」をコンセプトに、アジアのヒト、モノ、情報が集う社交場をイメージし、「アジアを知る」アジアマンスからリニューアルして7回目を迎えます。「福岡アジア文化賞」「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」「The Creators」の3大主要事業を柱に、民間企業・団体等と連携し様々なイベントを開催します。



# 2019年（第30回）福岡アジア文化賞 公式行事等（取材対応）

別紙 1

## ○公式行事

2019.8.20時点

開催日時		行事名		会場	内容・出席者など
9月10日(火) 18:30～20:00		第30回 福岡アジア文化賞授賞式		福岡国際会議場 (メインホール)	第30回受賞者への授賞式典（受賞者スピーチ等）
9月12日(木) 14:00～15:30		学校訪問	レオナルド・ブリュッセイ氏	松崎中学校	受賞者が学校を訪問し、自身の経験や専門分野について語り、生徒たちと交流 【参加者】各学校の生徒
9月12日(木) 19:00～21:00		市民フォーラム	佐藤 信氏	アクロス福岡 (イベントホール)	【テーマ】アジア、演劇、そして人びと：<出会い>を組織する 【ゲスト】・パネリスト：高橋 宏幸氏（演劇評論家、桐朋学園芸術短期大学専任講師） ・対談者：渡辺 えり氏（劇作家、日本劇作家協会会長、女優）
9月13日(金) 9:00～10:50		学校訪問	ランドルフ・ダビッド氏	春吉中学校	受賞者が学校を訪問し、自身の経験や専門分野について語り、生徒たちと交流 【参加者】各学校の生徒
9月13日(金) 11:00～12:30		学校訪問	佐藤 信氏	福岡女子高等学校	受賞者が学校を訪問し、自身の経験や専門分野について語り、生徒たちと交流 【参加者】各学校の生徒
9月13日(金) 15:00～17:00		市民フォーラム	レオナルド・ブリュッセイ氏	福岡市科学館 (サイエンスホール)	【テーマ】17世紀の東アジア海域と三人の冒険商人 【ゲスト】・対談者：松方 冬子氏（東京大学史料編纂所准教授） ・コーディネーター：太田 淳氏（慶應義塾大学経済学部教授）
9月13日(金) 18:30～20:30		市民フォーラム	ランドルフ・ダビッド氏	福岡市科学館 (サイエンスホール)	【テーマ】フィリピン社会～民衆主役の社会発展の模索～ 【ゲスト】対談者：藤原 帰一氏（東京大学未来ビジョン研究センター長・法学政治学研究科教授）

## ○その他の主催イベント

開催日時		行事名		会場	内容・出席者など
8月22日(木)～9月24日(火) 9:30～19:30*		福岡アジア文化賞第30回記念 パネル展		福岡アジア美術館 (アートカフェ)	福岡アジア文化賞の30年の歩みを振り返る展示 【展示内容】 歴代受賞の写真やメッセージを記したパネル、歴代受賞者の作品（書籍、絵画、映像等）等
9月10日(火) 14:00～20:00				福岡国際会議場 (2階ロビー)	9/10(火)の福岡国際会議場におけるパネル展について 取材をされる場合、取材時間は19:00～20:00の間となります。

\*金・土は20:00まで、水曜休館

## ○共催・協力事業

開催日時		行事名		会場	内容・出席者など
開催中～9月24日(火) 9:30～19:30*		福岡アジア文化賞30周年記念 アジアのアーティスト ハイライト展		福岡アジア美術館 (アジアギャラリー)	常設展の一角に福岡アジア文化賞コーナーを設置し、アジア美術館所蔵の歴代受賞者の作品（絵画、書）を展示
9月10日(火) 9月11日(水) 上映 14:00～		ランドルフ・ダビッド氏 2019年(第30回)福岡アジア文化賞大賞受賞記念上映		総合図書館映像 ホール・シネラ	第30回大賞受賞者・ランドルフ・ダビッドと親交の深かった故マリルー・ディアス＝アバヤ監督（第12回芸術・文化賞受賞者）の2作品を上映 ※9/11(水)は13:45からランドルフ・ダビッド氏による舞台挨拶を予定しています。

\*金・土は20:00まで、水曜休館

&lt;宛先&gt; FAX : 092-735-4130

8月30日(金) 〆切

福岡アジア文化賞委員会事務局行 (担当: 山田)



2019年 (第30回) 福岡アジア文化賞 公式行事等

取材申込票

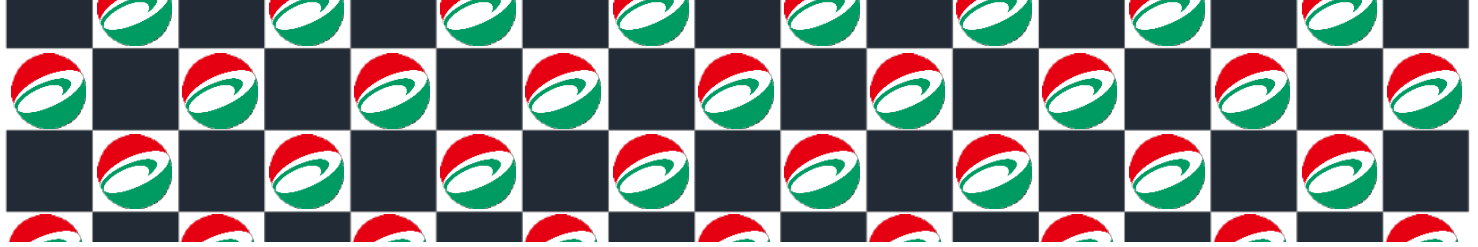
御社名	
ご芳名	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

## &lt;取材予定イベント&gt;

取材を希望されるイベントの□欄にチェック✓を入れてください。

<input type="checkbox"/>	9月12日(木) 14:00~ 15:30	学校訪問	レオナルド・ブリュッセイ氏	松崎中学校
<input type="checkbox"/>	9月12日(木) 19:00~ 21:00	市民フォーラム	佐藤 信氏	アクロス福岡 (イベントホール)
<input type="checkbox"/>	9月13日(金) 9:00~ 10:50	学校訪問	ランドルフ・ダビッド氏	春吉中学校
<input type="checkbox"/>	9月13日(金) 11:00~ 12:30	学校訪問	佐藤 信氏	福岡女子高等学校
<input type="checkbox"/>	9月13日(金) 15:00~ 17:00	市民フォーラム	レオナルド・ブリュッセイ氏	福岡市科学館 (サイエンスホール)
<input type="checkbox"/>	9月13日(金) 18:30~ 20:30	市民フォーラム	ランドルフ・ダビッド氏	福岡市科学館 (サイエンスホール)
<input type="checkbox"/>	8月22日(木)~ 9月24日(火) 【⇒取材希望日 ___月___日】	9:30~ 19:30 福岡アジア文化賞 第30回記念 パネル展		福岡アジア美術館 (アートカフェ)
<input type="checkbox"/>	9月10日(火) 取材19:00~20:00	14:00~ 20:00 福岡アジア文化賞 第30回記念 パネル展		福岡国際会議場 (2階ロビー)
<input type="checkbox"/>	(開催中) ~ 9月24日(火) 【⇒取材希望日 ___月___日】	9:30~ 19:30 福岡アジア文化賞30周年記念 アジアのアーティスト ハイライト展		福岡アジア美術館 (アジアギャラリー)
<input type="checkbox"/>	9月10日(火) 9月11日(水) 【⇒取材希望日 ___月___日】	14:00~ ランドルフ・ダビッド氏 2019年(第30回) 福岡アジア文化賞 大賞受賞記念上映 *9/11 13:45~ 同氏による舞台挨拶		福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ





# 2019年（第30回）福岡アジア文化賞 公式行事

**入場無料**  
**8.23 申込み**

アジア文化への貢献をたたえる福岡アジア文化賞は、今年で30回目という節目を迎えます。ただいま下記イベントの参加申込を受け付けておりますのでぜひお申し込みください！



申込方法：福岡アジア文化賞HP（「福岡アジア文化賞」で検索）受付フォーム↑  
<http://fukuoka-prize.org/contact/apply/>

※チラシ（専用はがき付）、専用電話（0800-888-9530/通話無料）からも申し込みできます。ご自宅の住所でお申し込みください。

## 第30回 授賞式

Award ceremony

**2019.9.10 (Tue)**  
**18:30~20:00**

福岡国際会議場  
メインホール



Randolf DAVID

Leonard BLUSSE

SATO Makoto

第30回受賞者が一堂に会する授賞式は、受賞者の生の言葉を通して、アジアの多彩な文化に触れることができるまたとないチャンスです！

伊藤 花りん氏による「サンドアート」や、十二代目 結城 孫三郎氏による「江戸糸あやつり人形」のパフォーマンスも予定しています。

【第30回受賞者】写真左から

◆大賞 ランドルフ・ダビッド氏（フィリピン／社会学者）

ーフィリピン大学名誉教授で、新興独立国の問題等を研究。『バナナと日本人』で知られる故・鶴見良行氏とも親交あり。

◆学研究賞 レオナルド・ブリュッセイ氏（オランダ／歴史学者（東南アジア史専門家））

ーグローバルな視野から近世東アジアの海域史を開拓。オランダ初の受賞者！

◆芸術・文化賞 佐藤 信（まこと）氏（日本／劇作家、演出家）

ー現代的感覚と伝統的美意識を融合させた舞台を数多く制作。岸田國士戯曲賞など受賞。

## 授賞式当日は2階ロビーで「第30回記念パネル展」

を開催しています

100名を超える受賞者たちの写真やメッセージパネルのほか、スピーチ動画や受賞者ゆかりの作品などを展示します！

受賞スピーチ動画



1991年（第2回）芸術・文化賞  
ドナルド・キーン氏自筆原稿

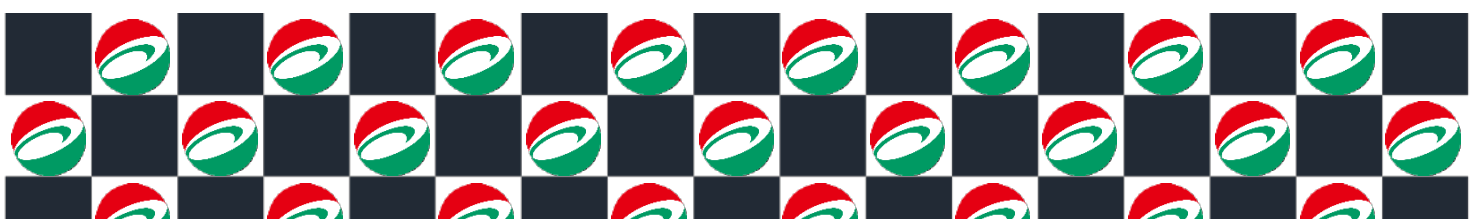


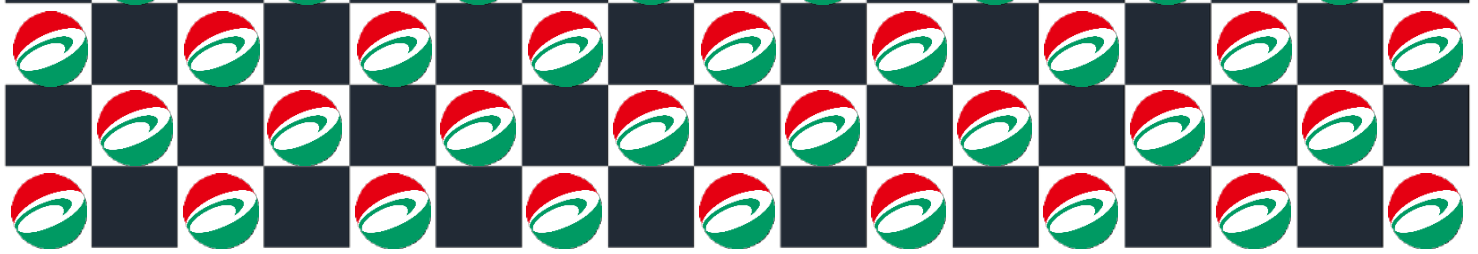
（会場イメージ図）

第30回

福岡アジア文化賞  
記念パネル展

PANEL EXHIBITION OF THE 30TH ANNIVERSARY OF FUKUOKA PRIZE





## 佐藤 信氏による 市民フォーラム

Public Lecture  
by SATO Makoto

2019.9.12 (Thu)  
19:00~21:00

アクロス福岡  
イベントホール



Speaker & Panelist

### アジア、演劇、そして人びと： 〈出会い〉を組織する

演出家・劇作家として、現代的感覚と伝統的美意識を融合させた優れた舞台を数多く制作してきた佐藤信氏。本フォーラムでは、前半で演劇評論家・高橋宏幸氏を交え佐藤氏の仕事を振り返り、後半で劇作家、日本劇作家協会会長で女優の渡辺えり氏を迎え、日本の現代演劇の未来やアジアとの国際交流について対談します。

【ゲスト】写真左から

- ◆対談者 渡辺 えり氏 (劇作家、演出家、女優、日本劇作家協会会長)
- ◆パネリスト 高橋 宏幸氏 (演劇評論家、桐朋学園芸術短期大学専任講師)

## レオナルド・ブリュッセイ氏による 市民フォーラム

Public Lecture  
by Leonard BLUSSE

2019.9.13 (Fri)  
15:00~17:00

福岡市科学館  
サイエンスホール

同時通訳



Speaker & Coordinator

### 17世紀の東アジア海域と 三人の冒険商人

グローバルな視野から近世東アジアの海域史を開拓してきたブリュッセイ氏。本フォーラムでは、17世紀初頭にこの海域で活躍した三人の冒険商人(角倉了以、ヤン・ピーテルスゾーン・クーン、鄭芝龍)の事績を通して、その時代の東アジア各地域の状況と相互の連関、そして彼らの活動が残した歴史的遺産について語ります。

【ゲスト】写真左から

- ◆対談者 松方 冬子氏 (東京大学史料編纂所准教授)
- ◆コーディネーター 太田 淳氏 (慶應義塾大学経済学部教授)

## ランドルフ・ダビッド氏による 市民フォーラム

Public Lecture  
by Randolph DAVID

2019.9.13 (Fri)  
18:30~20:30

福岡市科学館  
サイエンスホール

同時通訳



Speaker

### フィリピン社会 ～民衆主役の社会発展の模索～

フィリピン大学で第三世界研究所を創設し、新興独立国が抱える問題や対策などの研究を行ってきたランドルフ・ダビッド氏が、藤原帰一氏(東京大学未来ビジョン研究センター長・法学政治学研究科教授)とともに、ピープル・パワー革命(1986年)とその後の政権を中心としたフィリピン社会について語ります。

【ゲスト】写真

- ◆対談者 藤原 帰一氏  
(東京大学未来ビジョン研究センター長・法学政治学研究科教授)





# 福岡アジア文化賞30周年記念 アジアのアーティスト ハイライト展



タワン・ダッチャニー(タイ)「我」1989年 福岡アジア美術館蔵  
Thawan Duchanee (Thailand) "Self" Owned by Fukuoka Asian Art Museum

福岡アジア美術館アジアギャラリーにて、「福岡アジア文化賞30周年記念 アジアのアーティスト ハイライト展」を開催しております。

福岡アジア文化賞30年間の歴史を、福岡アジア美術館の所蔵作品で振り返るもので、タン・ダウ氏(シンガポール)をはじめ、タワン・ダッチャニー氏(タイ)、シュ・ビン氏(中国)、ジュウ・ミン氏(台湾)、ツァイ・グォチャン氏(中国)、ナリニ・マラニ氏(インド)ら芸術・文化賞受賞者の作品を展示しています。この機会にぜひご覧ください！

**期間 : 2019年09月24日(火)まで**

**会場 : アジアギャラリー**

**観覧料: 一般200円(150円) 高校・大学生150円(100円) 中学生以下無料**

**※( )内は、20人以上の団体料金**

This exhibition looks back the thirty years of Fukuoka Prize with the museum collection.

The exhibition introduces the works of previous laureates of Art and Culture Prizes including TANG Da Wu (Singapore), Thawan Duchanee (Thailand), Xu Bing (China),

Ju Ming (Taiwan), Cai Guoqiang (China), and Nalini Malani (India).

Fukuoka Prize 30th Anniversary Highlighting Asian Artist

Duration: Until to Tuesday September 24

Venue: Fukuoka Asian Art Museum (Asia Gallery)

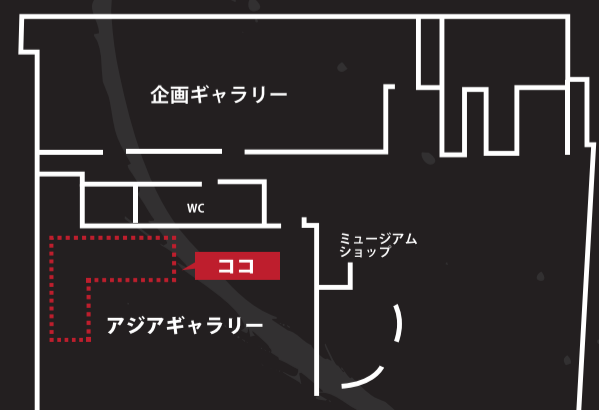
(7 & 8th Floor, Riverain Center Bld., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka City)

Fee: ¥200 [150](Adults) ¥150 [100](University and High school students)

\*Free for Secondary school and under

\* [ ] shows group admission for a group of more than 20 people.

●アジアギャラリー





# ランドルフ・ダビッド氏

## 2019年(第30回)福岡アジア文化賞大賞受賞記念上映

フィリピンの社会学者ランドルフ・ダビッド氏の第30回大賞受賞を記念して、  
同氏と親交が深かったマリルー・ディアス=アバヤ監督(第12回芸術・文化賞受賞)の作品を上映します。

- 上映日 2019年9月10日(火)・11日(水)
- 会場 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
- 観覧料 500円(大人)400円(大学生・高校生)300円(中学生・小学生)

The commemorative film screening for The 30th Fukuoka Prize 2019  
Grand Prize for Prof. Randolph David

The Ciné-là will show film works by the director Ms. Marilou Diaz-Abaya  
(the Arts and Culture Prize laureate of the 12th Fukuoka Prize) to  
commemorate the Grand Prize winning of the Philippines” sociologist  
Professor Randolph David who had a close friendships with her.

Date of screening Tuesday 10th September, Wednesday 11th September

Venue Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

Fee 500 Yen (Adult)

400 Yen ( University/ High school student)

300 Yen ( Junior high and Elementary school student)



マリルー・ディアス=アバヤ  
Marilou DIAZ-ABAYA

### □上映作品



10日(火) 14:00『マドンナ・アンド・チャイルド』  
14:00 Tuesday 10th September, [Madonna and Child]



11日(水) 14:00『ホセ・リサル』  
14:00 Wednesday 11th September, [ Jose Rizal]

★11日(水)は上映前にランドルフ・ダビッド氏の舞台挨拶を予定しています。

Prof. Randolph David is scheduled to hold the stage greeting in prior to the screening on Wednesday 11th September.